



南アルプス保護区保護司会

回覧

南アルプス保護区保護司会
事務局 055-225-3805

ほごちゃんだより

令和5年 12月発行

更生保護協力団体 <南アルプス地区更生保護女性会・南アルプス市協力雇用主会>



ぼくは、更生保護ペンギンの「ほごちゃん」です。今日は、南アルプス市就労支援事業者機構会長の三木仁さんをお訪ねしました。会長さんにお話を伺います。
三木会長は、就労支援事業者機構（協力雇用主会）に入られて何年になりますか？

ほごちゃん、こんにちは。私が就労支援事業者機構に入ったのは2007年からですから、もう16年になりますね。



随分長い間ボランティアして下さっているんですね。これまで就労支援の活動のなかで、心に残っていることをお聞かせください。

地元の保護司Uさんから就労支援への勧誘を受けすぐ次の年には会計を任せ戸惑いました。当時10代のT君がすぐ頭に浮かぶんだけど、保護司から紹介され、観察所から現場見学にやって来て1年間働いた。立派に更生したので、親戚で「是非・・・」と乞われて転職した。T君の子どもと私の孫が一緒に保育園でね。今でも会えば挨拶したり話し込んだりするの、楽しいし、嬉しいね。



就労支援をする中で、他にも色々な経験をされたと思いますが。

うまくいかないこともいくつかあってね。覚せい剤前科4犯の方と刑務所で面接し1年間働いたんだけど、訓練校に週1、2回通えば7割の給料がもらえるというので、うちを辞めてしまっ、結局また再犯。国の制度の不備を感じるね。アパートの保証人になったり、車の代金を立て替えたりしたんだけど、社員からの色んな声もあってね。結局そうなってしまったね。残念だったね。



三木会長さん、今日はお忙しい中、貴重なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。峡北地区と南アルプスの就労支援雇用主同士の交流会を開催し情報交換を行っていきたいそうです。峡北地区では、雇用主と保護司とで定期的な交流を行っていて仕事の斡旋なども気心が知れているのでやり易いそうです。また、代替わりなどを機に就労支援機構をやめてしまう会社が多く悩んでいるとのこと。奥様も同席され資料など出して下さいました。お話を聞きしている間にも仕事の電話が鳴ってくるという状況で恐縮してしまいました。益々の繁盛を願わずにはられませんでした。

更生保護・保護司・更生保護女性会について

更生保護とは、犯罪や非行をした人を地域社会において健全に立ち直ることができるように支える活動です。

保護司とは、罪を犯した人が、罪を反省し、社会の中で、ひとりの人として正しく生きていけるようになる（立ち直る）のを支える、法務大臣から委嘱されたボランティアです。また、社会を明るくする運動などの犯罪予防活動などにも取り組んでいます。

更生保護女性会（通称:更女の会）とは、保護司と協力しながら、広く地域に更生保護の心を伝え、更生保護の土壌を育てる活動をしています。また、青少年の健全育成や子育て支援などにも取り組んでいるボランティアです。

協力雇用主の活動

南アルプス市では現在14の会社が所属し、犯罪や非行をした人の社会復帰を支える就労支援の活動をしています。窓口は甲府保護観察所です。何かお困りの時には相談して下さい。また、今年4月から就労支援機構の事務局として更生保護施設山梨以徳会（甲府市青沼2-22-1）内に常勤スタッフが1名配置され、保護観察所と連携して協力雇用主の新規開拓に取り組んでいます。10月以降、支援対象者の就職活動支援や職場定着支援の取り組みを始めました。職場定着のための事業として、就職前職場体験事業や就労継続報奨金制度を実施しています。三木会長さん達と協力し合って協力雇用主が増えると有難いと思いました。

今年の9月26日に令和5年度保護司及び協力雇用主合同研修会が開かれました。その資料の中に「再犯して、刑務所に戻った人の多くが、仕事をしていませんでした」というフレーズが心に刺さりました。鬼平犯科帳でも江戸に大量に流れ込んできた浮浪者が生活に困り、泥棒・火つけ・人殺しなどを犯す状況を打破するため、厳重に取り締まる一方、親身になって話を聞き、仕事を斡旋している場面が脳裏をよぎり「貧すれば鈍す」「衣食足りて礼節を知る」という高校時代の漢文の授業の言葉が浮かんで来ました。

甲西支部の活動

南アルプス保護区には、芦安八田、白根、櫛形、若草、甲西と5つの支部があります。その中の甲西支部について紹介します。

- 毎月の定例会 農繁期の7月～8月の1～2回休むこともありますが定期的に行っています。コロナ禍の3年間は開けないこともありましたが、下火になった時などに実施していました。5類になってからはこれまで通り開催し、連絡事項の確認・協議・情報交換などを行っています。
- 三日月会 先輩（保護司OB・OG）との懇親会でコロナ禍以前には毎月の食事会や年に1回の旅行（主に1泊）を行ってきました。先輩の貴重な実践を学ぶ大切な機会でした。旅行では踊りを披露していただいたり、かくし芸を見せていただいたりしました。賢島で暴風雨に晒されたり、身延山のロープウェイに乗って山頂からの眺望を楽しみ日蓮聖人の望郷の念に思いを馳せたり、楽しい思い出が蘇ります。先日は今年7月に逝去されたOGの新津妙子先生のお墓参りをしました。更生保護女性会の方々と一緒に線香を上げ、手を合わせて来ました。
- 更女との研修 更女甲西支部の方々と支部単独で刑務所の見学など毎年研修をしています。やはりコロナ禍で休んでいましたが、今年度は勝沼にある立正寺の見学をしてお上人様から講話をお聞きする予定になっています。

